

TAKE
FREE

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER

vol.91
2022 年 秋号

医療センターニュース



特集／臨床工学室インタビュー

ご存知ですか？臨床工学技士

臨床工学技士の活躍スポットはここだ
～手術室・集中治療室・内視鏡室～

news

当院初の特定行為研修修了者
選定療養費改定のお知らせ
大規模地震時医療活動訓練の実施

ご存知
ですか

臨床工学技士

ロボット手術や人工透析機器など、近年の医療機器の進化に伴い、高度医療機器を的確に操作できる人材の需要が益々増加しています。医療機器は手術や人工呼吸器など命に関わる場面で用いられることが多く、安全で有効的な使用が求められます。今回は、現代の医療に必要な不可欠な職種である臨床工学技士の仕事についてご紹介します。*

※当院は、10月1日現在8名の臨床工学技士が在籍しています。

臨床工学技士とは

昭和63年に施行された臨床工学技士法に基づいた国家資格です。ME (Medical Engineer) という医療エンジニアと混同されることがありますが、正しくはCE (Clinical Engineer) と言い、医師の指示のもと、人工心肺や透析装置などの生命維持管理装置の操作及び保守点検などを行っています。



で ぐ ち か つ ひ ろ
● 出口勝博 室長

当院の臨床工学室の経緯

平成6年の三重県立総合医療センター発足にむけ、前年度に三重県立総合塩浜病院にて三重県職員で初めての臨床工学技士として採用されました。私は当初、看護師をめざしていましたが、臨床工学技士の資格ができたことを知り、機械も好きなことから医療・工学の知識を生かすことができる今の道を選択し現在に至ります。当初は業務も確立していなかったため、主に透析業務・人工心肺操作を行いながら経験を積んでいきました。それから10年程は3名の少ない体制で夜間・休日の緊急にも対応していましたが、徐々に業務を拡大するとともに、人員も8人まで増え、来年度には9名体制になる予定です。

移ろい

医療技術の発展に伴い医療機器の種類も増え、業務も複雑になっていますが、日々前向きに取り組んでくれるメンバーのおかげで、医師・看護師からの依頼も増え、臨床工学技士の存在が大きくなったと実感しています。そのため、それぞれの業務の専門性を高める必要があり、一人ひとりの日々の学習も重要となっており、メンバーは各自で新たな認定資格等の取得にも取り組んでくれています。

今後の展望

患者さんの治療に直接かかわることも多く、最適な治療方法について医師・看護師等とともに考え、良い医療を目指すこと・患者さんが元気になってくれることにやりがいを感じながら日々の業務に取り組んでいます。

臨床工学技士の3つの活躍スポット

手術室 当たり前に見える環境づくり



なかむら ひろかず
● 中村 博一 臨床工学技士

手術室での役割

手術室は病院内でも特に医療機器が多い場所です。病棟では使用しない専門的な機器もあり、トラブルが発生した際、すぐに代替の準備が難しい場合があります。そのため、予定していた手術でトラブルなく医療機器が使用され、滞りなく無事に手術を終えられるようにすることが、臨床工学技士としての重要な役割だと感じています。私たち臨床工学技士から医師や看護師に医療機器の使用方法を説明したり、医療機器が安全に動作できるか整備・点検などを行います。実際に、臨床工学技士が手術室の業務に関わることでトラブル発生率の低減や問題解決までのスピード向上に寄与しています。またスムーズな手術は、患者さんの負担のみならず、医師・看護師の業務負担の軽減にもつながっています。

きっかけ・やりがい

高校生の時に見たテレビ番組で、臨床工学技士という職種を知りました。機械いじりが好きだったことと、直接的に人の役に立つことができるということに魅力を感じ、臨床工学技士を志すきっかけになりました。

今後の展望

就職した当時は、人員も少なく対応できる現場が限られていましたが、現在では多くの現場で様々な医療機器の操作や保守・点検などに関わっています。私たち臨床工学技士の日々の地道な業務の積み重ねが、トラブルを起こさない環境づくりにつながっていると思います。医療機器の進化は日進月歩であり、取扱いが複雑化していますので、医師や看護師から頼られ、私たち臨床工学技士の専門知識や技術により医療機器を安全に使っていただけるとやりがいを感じます。

当院は低侵襲^{*}な治療をめざしているため、手術支援ロボットなどの医療機器の使用頻度は高く、また手術室の増築も計画されています。私たち臨床工学技士が関わることで安全を確保し、手術件数の増加を図っています。

※身体に負担の少ない治療

集中治療室 声無き声を聴き、変化を見逃さない

はくまえ たつひろ
● 白前 達大 臨床工学技士

集中治療室での役割

手術室と同様に医療機器が多く、なおかつ状態の悪い患者さんに対応しています。そのため少しの変化も見逃さないように、患者さんの変化を知らせるアラームは細かく設定しています。医療機器の停止などにより治療を中断させないことが目標です。

また、集中治療室の患者さんは言葉を発することが難しい状態

のことが多く、その関わり方も独特です。声無き声を聴けるように集中治療室には毎日足を運び、脈拍や心拍などのバイタルを確認し、患者さんの状態を注視しています。

新型コロナウイルス感染症でよく耳にするようになったECMO（体外式膜型人工肺）も集中治療室で対応しています。当院での治療件数は他の治療に比べると多くありませんが、使用に携わる医師や看護師の不安軽減のため、勉強会や必要に応じて説明資料を配付するなどチーム医療としての役割を全うできるように心がけています。

内視鏡室 業務の開拓者となり、より良いサポートへとつなげる

いとう かつのり
● 伊藤 和徳 臨床工学技士

始まりは

当院の臨床工学技士としては、3人目であったので、逆にどんな業務にも関わるとやる気を感じたのを覚えています。当時に比べて少し人数は増えましたが、みんながマルチに仕事ができるジェネラリストであり、その中でもそれぞれが得意分野を伸ばすことで、より良いサポートに努めていきたいと思っています。

内視鏡室での役割

医師の指示のもと、上部（胃など）・下部（大腸など）の消化器内視鏡検査・治療の補助を行なっています。胃カメラの操作や病変の切除は医師が担当しますが、臨床工学技士が介入することで

手技の時間は短縮され、万が一のトラブルに備えることができます。

今後の展望

当院の内視鏡室に臨床工学技士が携わりだしてからわずかしか経っていません。そのため現在も他のスタッフと連携をとりながら業務の拡大を行なっているところです。有資格者を存分に生かすためにも、まずは自身が深く内視鏡室に関わり開拓し、将来的には全ての機械やカメラの管理ができる体制を整えたいです。

また医療機器は日々進歩しています。「誰が操作しても扱いやすく、今よりもさらに安全である。」そんな医療機器の導入も積極的に行うとともに常に作業効率や安全性に注意を払い、日々「これはこうしたらいいのでは」と常に改善を念頭に業務にあたっています。

様々な場面で活躍

透析室



血液浄化療法業務

体内に貯まった老廃物などの排泄あるいは代謝する機能が働かなくなった場合に行う治療で血液透析療法、血漿交換療法などがあります。臨床工学技士は穿刺や人工透析装置の操作を行います。

アンギオ室



アンギオ業務

循環器内科、脳神経外科での血管内カテーテル検査・治療において、使用するカテーテル類について医師と相談したり、生体情報を監視するなど円滑に業務が進むようにサポートしています。

病棟



医療機器保守点検業務

病院のありとあらゆる医療機器が安全に使用できるように保守・点検を行っています。

手術室



手術室業務 ロボット支援下手術業務

ロボットの保守管理を行い、機器を常に利用可能な状態にしています。

また、術中は映像・記録の管理やトラブルに対応し、手術が円滑に行われるように努めています。



鏡視下手術における カメラ保持業務

消化器外科・泌尿器科で鏡視下手術におけるカメラ操作の補助を行っています。



人工心肺業務

心臓手術の際、心臓や肺に代わる働きをする体外循環装置(人工心肺)を運用・管理します。このとき、同時に使われる多くの医療機器のすべての機器の操作や使用前の点検などの業務を臨床工学技士が受け持ちます。

する臨床工学技士

集中治療室



集中治療室業務

集中治療の必要な重症患者さんの治療に直接携わるほか、生命維持管理装置をはじめとした各種医療機器や集中治療室における電気設備、医療ガス設備の安全管理を行うことにより、高精確な医療機器を安全に使用することに尽力しています。

内視鏡室



内視鏡業務

内視鏡センターでは、検査時準備から始まり、検査中は患者さんの状態に応じて検査の補助に入り、生検、内視鏡的止血術、ポリペクトミーなどの処置を行う際は処置具を操作し、医師の補助も行います。さらに、検査後は使用機器の洗浄及び片付けまでを一貫して行います。

外来



ペースメーカー業務

ペースメーカーの植込み、ペースメーカー外来、ペースメーカーを植え込まれた患者さんの手術中の立会いなどにも臨床工学技士が携わっています。



News

外来・化学療法室 林恵里副師長が 当院初の特定行為研修修了者となりました

領域は、基本となる「栄養および水分管理に係る薬剤投与関連」と「創傷管理関連」です。

褥瘡や慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去と、創傷に対する陰圧閉鎖療法を医師の指示のもと手順書に基づいて実施することができます。

今後もより良い診療を患者さんに提供できるように取り組んでまいります。



News

選定療養費改定のお知らせ

令和4年度の診療報酬改定により、他の医療機関から紹介状を持参されず当院を受診した場合に負担いただく特別な料金『選定療養費』の見直しが行われました。

令和4年10月1日以降の初診時・再診時の『選定療養費』は以下のとおりとなります。
みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いします。

区分	対象の方	金額(税込み)	
		改定前(9月30日まで)	改定後(10月1日以降)
初診時 選定療養費	紹介状を持参せずに、当院を受診される場合	5,500円	7,700円
再診時 選定療養費	病状、状態が落ち着き、当院が他の医療機関への紹介をご提案した後も、引き続き当院での診療を希望し、受診される場合	2,750円	3,300円

News

大規模地震時医療活動訓練を実施しました



令和4年10月1日に当院において内閣府の主催により、県内外の15隊のDMATチームやドクターヘリなど多数の機関が参加し、総合的な実動訓練を実施しました。

訓練を通じて、明確な役割分担が確認でき、大変有意義な一日となりました。これからも有事に備えて取り組んでいきます。



休診のお知らせ

令和4年11月1日現在

耳鼻いんこう科

11月29日(火)

12月28日(水)

三重県立総合医療センター

<https://www.mie-gmc.jp/>

検索

都合により変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。



外来診療医師担当表

令和4年11月1日(火)現在

診療科		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科	初診	樂 家	秋 山	西 田	小 林	稲 葉
	初診・再診	感染症外来 白木	血液・血栓外来 和田	白 木	消化器内科(再診) 白木	循環器内科(再診) 牧野
消化器内科	初診	森 谷	井 上	山中／水谷	西浦／島田	菅／中澤
	再診	井 上	森 谷	菅	山 中	西 浦
	再診	島 田	水 谷		中 嶋	腫瘍内科 齋藤
循環器内科	初診	増 田	加 藤	増 田	林	谷垣内
	再診	加 藤	中 澤	谷 垣 内	牧 野	増 田
	再診					担当医
※消化器内科水曜日の3診は、山中が第1週・第3週・第5週を担当し、水谷が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科木曜日の3診は、西浦が第1週・第3週・第5週を担当し、島田が第2週・第4週を担当します。 ※消化器内科金曜日の3診は、菅が第1週・第3週・第5週を担当し、中澤が第2週・第4週を担当します。						
呼吸器センター	初診	吉田(紹介診)	吉田(紹介診)	増 田	藤 原	児 玉*
	再診	後藤(初診)	三木(初診)	児 玉 後 藤	三 木 吉 田	増 田 藤 原
※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時～11時(完全予約制)						
消化器・ 一般外科		1診／横 江	1診／家城(1・3・5週)／蔦村(2・4週)	1診／尾 嶋	1診／毛 利	1診(午前)／担当医
		2診／尾 嶋		2診／山 本	2診／辻 浦	
		3診／毛 利		3診／横 江		
小児外科			2診／内 田		内田(14:00～)	
乳腺外科		予約診／ 野呂(1・3週)／ 山下(2・4・5週)	3診／山 下		3診／山 下 予約診／ 乳腺外来(野呂)	2診／野 呂 予約診／ 乳腺外来(山下)
				石浦(午前)／粗野(13:30～15:30)		
形成外科						
※第1週目は休診です。 ※相野が最終週以外を担当し、石浦が最終週を担当します。						
心臓血管外科／ 呼吸器外科		1診／近 藤	1診／新 保	1診／澤田(1・3・5週)／田邊(2・4週)		1診／澤 田
		2診／庄 村	2診／鈴 木			
脳神経外科		1診／黒 田	1診／後 藤	1診／寺 島	予約診／担当医	1診／梅 田
		2診／亀 井	午前 予約制／脳血管外来※(梅田)			2診／亀 井 午後 予約制／ 脊椎脊髄外来
脳神経内科		1診／伊 藤	1診／伊 藤	1診／掃部／伊藤	1診／堀江／稲葉	1診／掃 部
			2診／掃 部	2診／西 垣	2診／稲葉／堀江	2診／伊 藤
※1診が初診、2診が予約診です。 ※水曜日の1診は、掃部が第1週・第3週・第5週を担当し、伊藤が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の1診は、堀江が第1週・第3週・第5週を担当し、稲葉が第2週・第4週を担当します。 ※木曜日の2診は、稲葉が第1週・第3週・第5週を担当し、堀江が第2週・第4週を担当します。						
小 児 科		1診／杉 山	1診／西 森	予約／太 田	1診／太 田	1診／杉 山
		2診／山 口	2診／太 田	予約／杉 山	2診／西 森	2診／鈴 木
		3診／小 林	3診／小 林	予約／大 森	3診／大 森	3診／山 口
		4診／栗 原	4診／濱 野	時間外・紹介／小林・西森・鈴木		4診／荻 野
産 婦 人 科		1診／大 里 (初診)	1診／手嶋(1.3.5週) 玉石(2.4週)	1診／浪 崎 (初診)	1診／竹 内 (初診)	1診／河 村
		2診／浪 崎	2診／朝 倉	2診／河 村	2診(午前)／朝倉 2診(午後)／1ヶ月検診、玉石	2診／手 嶋
		3診(午前)／南	3診／玉石(1.3.5週) 手嶋(2.4週)	3診／竹 内	3診／たんぼぼ (助産師) 外来	3診／朝 倉
		3診(午後)／母体胎児診断				
		4診／たんぼぼ (助産師) 外来			4診／ リンパ浮腫ケア外来	4診(午前)／担当医
整 形 外 科		1診(午前)／ 北尾(紹介 膝、肩)	1診(午前)／ 北尾(膝関節外来〈再診〉)		1診(午前)／ 奥山(再診)	1診(午前)／ 奥山(紹介、初診)
			1診(午後)／北尾(再診)		1診(午後)奥山(再診)	
		2診(午前)／ 柿本(紹介、初診)	2診(午前)／ 服部佳生(紹介、初診)		2診(午前)／ 服部徹也(紹介、初診)	2診(午前)／ 寺田(リハ、初診)
			2診(午後)／柿本(再診)		2診(午後)服部徹也(再診)	
		3診(午前)／ 服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)／ 柿本(リハ、再診)		3診(午前)／ 服部佳生(リハ、再診)	
皮 膚 科		1診／中西(真)	1診／加 古	1診／加 古	1診／中西(丈)	1診／加 古
			午後／褥瘡回診	午後／手術		
泌 尿 器 科		1診／神 田		1診／宮 地	1診／松 浦	1診／田 端
		予約診／松 浦		予約診／神 田		予約診／宮 地
		予約診／宮 地		予約診／田 端		予約診／松 浦
※火曜日は、第1週、第3週、第5週のみ						
眼 科		1診／佐 宗	1診／佐宗(午後休診)	1診／佐 宗	1診／佐 宗	1診／佐 宗
耳鼻いんこう科		1診／鈴 村	1診／鈴 村	1診／鈴 村	1診／鈴 村	1診／鈴 村
精 神 科		1診／山 下	1診／山 下	1診／山 下	1診／山 下	1診／山 下
放 射 線 科		1診／間 瀬	1診／野 本	1診／高 田	1診／佐 貫	1診／南 平

※都合により、変更する場合がありますので、最新の情報をホームページ・お電話・メールにてご確認ください。

地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
MIE PREFECTURAL GENERAL MEDICAL CENTER
TEL.059-345-2321 (代表)

— 三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

» 基本理念

1. 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
2. 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

» 基本方針

1. 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
2. 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
3. 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
4. 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
5. 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

— 臨床研修基本理念・基本方針

» 臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

» 臨床研修基本方針

1. 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
2. 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
3. チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
4. 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
5. 医療人としての倫理観を養成する。

編集：地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和4年11月／発行号

〒510-8561 三重県四日市市大字日永 5450-132

TEL. (059) 345-2321 (代表) E-mail. sogohos@mie-gmc.jp URL. <https://www.mie-gmc.jp/>

表紙：臨床工学室 スタッフ 写真 [令和4年8月29日(月)撮影]

ホームページ



交通のご案内



三重県立総合医療センター

検索

<https://www.mie-gmc.jp/>